

資料提供

令和7年11月7日

課名 水産課

担当者 横内

電話 082-513-3610 (直通)

内線 3609

県東部海域における赤潮警報及び赤潮注意報の解除

県東部海域で発生していたシャットネラ属及びコクロディニウム・ポリクリコイデスによる赤潮が終息したため、県東部海域に発令していた全ての警報及び注意報を解除します。

なお、この赤潮による漁業被害の報告はありません。

1 解除日

令和7年11月7日 (金)

2 解除する警報及び注意報

発令海域	区分	対象プランクトン	発令期間
県東部海域 (三原市以東)	警報第1号	シャットネラ属	7月22日から 11月6日まで
	注意報第1号	コクロディニウム・ポリクリコイデス	9月3日から 11月6日まで

3 解除する理由

県東部海域のプランクトン及び海域調査の結果、終息したと判断したため。

4 プランクトン及び海域調査日

令和7年11月6日 (木)

5 調査機関

県立総合技術研究所 水産海洋技術センター (呉市音戸町)

6 魚類養殖場の被害

報告なし

※広島県のホームページ「赤潮情報」

<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/88/1170324265768.html>

プランクトン調査結果（東部海域）

調査日 令和7年11月6日

調査機関 県立総合技術研究所 水産海洋技術センター

シャットネラ属 (細胞数/ml)

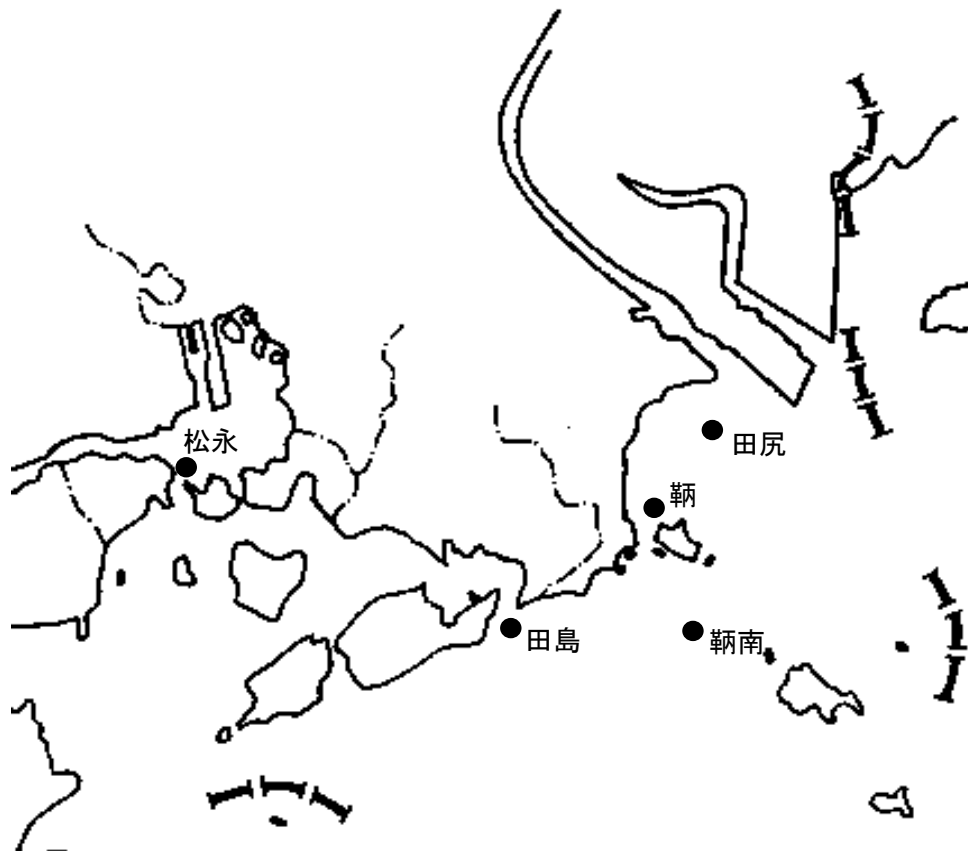
水深	松永	田島	鞆南	鞆	田尻
0m	0.01	0	0	0	0.01
5m	0.01	0	0	0	0.00
B-1m	0.00	0	0	1	0.00

カレニア・ミキモトイ (細胞数/ml)

水深	松永	田島	鞆南	鞆	田尻
0m	0.00	0	0	0	0.00
5m	0.00	0	0	0	0.00
B-1m	0.00	0	0	0	0.00

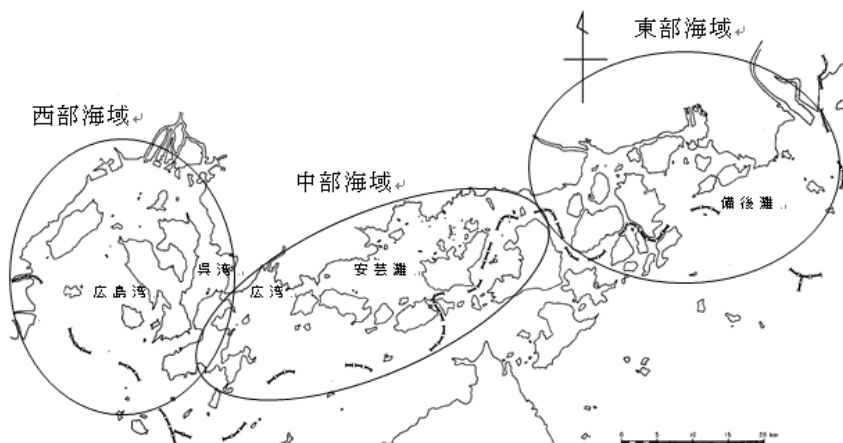
コクロディニウム ポリクリコイデス (細胞数/ml)

水深	松永	田島	鞆南	鞆	田尻
0m	0.00	0	0	0	0.00
5m	0.00	0	0	0	0.00
B-1m	0.00	0	0	0	0.00



参 考 資 料

1 海域概要



2 赤潮の種類

(1) シャットネラ赤潮について

海産ラフィド藻の一種であり、赤潮の原因藻類の一つである。大きさは数十ミクロン程度で、海水温 20～30℃になる夏場に増殖し赤潮となり、数百細胞/ml を超えるレベル（警報レベル）になると、魚類のへい死を引き起こす危険性がある。（右の図1はシャットネラ・アンティーカの顕微鏡写真）



図 1

(2) コクロディニウム・ポリクリコイデス赤潮について

渦鞭毛藻の一種であり、赤潮を形成する水温は 16～27℃とされ、広い温度範囲に適応していると考えられている。九州地方から瀬戸内海、三重県、高知県沿岸域で赤潮を形成する。1,000 細胞/ml 程度の発生で漁業被害が発生する可能性があり、本県では、平成 18 年に養殖ヒラメのへい死が発生した。（右の図2はその電子顕微鏡写真）



図 2

3 昨年度（令和6年度）の赤潮注意報・警報の発令状況

発令月日	区分	対象プランクトン	対象海域	備考
6月25日	注意報第1号	シャットネラ属	県東部海域	7月25日に警報第1号に切替
7月25日	警報第1号		県東部海域	
7月25日	注意報第2号	カニア・ミキトイ	県東部海域	
8月1日	注意報第3号	カニア・ミキトイ	県西部海域	

補足：県東部海域（警報第1号、注意報第2号）は10月16日、県西部海域（注意報第3号）は10月17日に解除